

人間性豊かな地方都市に

昭和49年度の施政方針



施政方針を説明する鈴木市長

はじめに

国は、当面の最大かつ緊急の政策課題である物価問題を解決するために、総需要の抑制として、昭和四十九年度国家予算において思いついた緊縮予算を編成し特に公共事業については、文教施設、福祉関係を除いて全面的に圧縮を余儀なくされました。これに伴う地方財政計画の影響をうけ、自主財源に乏しい本市においても、国、県と同一基調に基づいて、公共投資をはじめとする歳出の抑制を図らなければならなくなりました。このような状況のも

教育文化の向上

いつの時代にも教育の使命は限りなく、心身ともにすこやかな市民を育てること、人間としてのしあわ

せと郷土の限らない前進の基本となるべき問題です。学校施設の改善、高秋小学校危険校舎の改築について

市民生活向上の市政を積極推進

きびしい経済環境のもとで

鈴木市長は、三月定例市議会の冒頭十一日に、昭和四十九年度の市政方針を明らかにしました。この中で、昨年来の国内外の政治、経済情勢の変化に伴う市の状態を説明する一方、市民生活向上のための諸施策をさらに推進すると、積極的な姿勢を示しました。要旨は次のとおりです。

底を図ります。社会教育の振興 ①青少年の育成②成人教育の拡充③社会体育の推進④施設の整備に主眼をおき、それぞれの施策を推進してゆきます。このためには、社会教育活動の中心的な施設の中央公民館の機能を一段と高める必要性を痛感いたします。市民体育館の建設については、昨年秋季以来投資抑制により48年中に実施の承認を受けることができなかったのですが、この事業も国の補助起債に依存しなければなりません。49年度にはぜひとも実現を図りたいと思います。

福祉行政の推進

まず本年度は①教育施設の充実②福祉行政の推進を重点的に取りあげました。

市民福祉の充実については常に行政的に深く配慮を加えてゆく必要を痛感しています。恵まれない人々への思いやり、子どもたちのしあわせ、老人の生きがい念頭に、一般的な生活水準向上のかけにとり残された人々に対して、希望と安らぎを与えることは、住民福祉の向上に欠くことのできない行政の課題です。

社会福祉 社会福祉協議会と福祉関係諸団体への助成措置を講じて、社会活動をよりいっそう助長するとともに、県民交通災害共済への加入を促進するなど、交通災害の被災者救済についても意を用いたいと考えています。市民生活の安定と治療機会の拡充 本年より市独自の施策として、母子家庭の医

療の無料化を実施します。これは償還方式により母子家庭の十八歳未満の子女を対象として行なうものです医療体制・救急体制の確立は、本市にとって今後の大きな課題であり、種々困難な諸問題をかかえていますが、引き続き積極的な改善策を見出すべく鋭意努力を傾注する覚悟でいます。老人福祉対策 「老人いこいの家」を十分活用し、また環境の整備とともに施設の充実を図り、今後適切な管理運営を期してご期待に応え得るよう心がけていきます。なお、老人学級、敬老会の助成、家庭奉仕員による援護措置についても、今後なおいっそう意を用いていきます。国民健康保険事業 給付の改善を行ない本年四月より精神障害者に対し本人負担をなくすとともに、助産費について補助の増額を図り健全な乳児育成に努めたいと思います。高額医療費の支給制度についても、国の制度化に併行して本年七月一日から実施していきま



熱心に議会傍聴をする
市民のみなさん

生活環境の整備

下水道の改善 谷地川下水道改修事業は引き続き進めていきますが、ことしから商業地域にかかると、地域住民に迷惑がかららないよう最善の努力を傾注して施行にあたります。また本年度から市街地の環境改善と水質保全のため、公共下水道の調査の委託を実施して基本計画を策定する考えです。

道路の整備 生活環境整備のための最も重要な事業のひとつとして取組んできましたが、引き続きこの重要性を認識し実行していく考えです。本年の主要道路の舗装、改良事業など起債に依存する事業の施行にあたっては、必要財源を留保し今後地方債の確保に鋭意努力をし、起債の見通しのつきしだいその財源と合わせて予算を補正し、市民の期待に応えるために努力を傾けていきたいと考えています。

消防対策 中戸川分団詰所消火栓の設置など、施設の充実とともに団員の処遇改善を図ります。

水道事業 今後給水人口の増大とともに、普及率の拡張、配水管の整備拡充を行ない、また、松久保工業団地への工業用水については

本年より給水を開始する予定です。

環境衛生 生活水準の向上生活様式の近代化で、排水量は年々増大の傾向にありますので、処理施設の改善と機能の十分な活用を図るよう体制の確立に努めます

公害対策 本年はさらに監

郷土産業の振興

農林行政 都市化の進展などに伴わない専業農家から兼業農家への傾向は、年ともにも高まってきています。本市では、優良農地の保全を図るため、47年農業振興地域設定を行ないました。本年度も適地適作の営農団地の育成、土地改良事業、農道道路の整備、用水路、林道など、生産基盤の整備のための事業に重点をおき施策を進めます。

畜産 「高萩牛」は、年々その名が高まりつつある現状にかんがみ、飼養規模の拡大、新しい経営技術の導入、流通機構の近代化、合理化に努めます。特に本年は、国の阿武隈八溝畜産基地構想と相まって、本市畜産団地の確保を図り、畜産経営近代化のため、行政分野から前進を期したいと

視体制を進めるため測定器具を充実し、今後引き続き公害防止条例を基本に適切な措置を講じます。

予防衛生 昨年度、県北広域市町村圏の事業として購入した健康診断車を有効に活用し、市民の健康管理をよりいっそう徹底するとともに、衛生思想の普及、啓発に意を用いていきます。

視体制を進めるため測定器具を充実し、今後引き続き公害防止条例を基本に適切な措置を講じます。

昨年年度、県北広域市町村圏の事業として購入した健康診断車を有効に活用し、市民の健康管理をよりいっそう徹底するとともに、衛生思想の普及、啓発に意を用いていきます。

充実など金融対策を一段と強化し、今後情勢の変化に応じた適切な措置を講ずるとともに、商店界の体質改善と近代化の努力には積極的に応えていきたいと思っております。

観光 花貫溪谷を中心とした自然休養ゾーンに、小滝沢駐車場の設置をはかり、増大する余暇の利用者の便に共したいと考えています

第29回 国民体育大会

おわりに

激動と不安を示す内外の政治経済情勢は、国政、地方行政をとわず民族的試練の時期の到来を物語っています。また一方高萩市をめぐる諸条件をみると、市民の皆さんのご協力のもとに、人間性にもとづく新しい地方都市としての基盤ができてつつあり、今後発展の可能性を無限に秘めていると信じています。

国体もいよいよ開催の年を迎え、すでに施設の整備も完了し、さらにこれを契機として「明るく住みよいまちづくり運動」を展開してきましたが、市民の協力のもとに全力をあげて「水と緑のまごころ国体」の成功を期していきたいと思っております。しかしながら本年のかつてないきびしい財政事情のもとに実施する国体のため、国体本来の力と心の祭典の使命にかんがみ、とかくはでになりすぎた傾向を反省し、経費も極力抑えて必要最少限度の予算を計上したものです。

市制施行 20周年

本年は市政施行二十周年に当たりますが、本年の特

殊な情況にかんがみ、記念式典などはとりやめ、記念事業として、市民の歌・市民おどりの歌、市の木・市の花・市の鳥の制定発表を行ない、あわせて本市の歴史と現況を編集した「郷土のあゆみ」(仮称)を作成して、市内学校および各世帯に配付し、郷土への認識と理解を深め、新しい郷土の発展のための心を養うことにより市制二十周年を祝いたいと思っております。

企業会計

2億2,256万円

の使いみち

豊かで住みよいまちづくりと、市民生活向上のために重点がおかれた、昭和49年度の予算のあらましです。

- ・上水道（企業会計）に 3,369万円
- 労働費…………… 8,204万円
道路側溝の整備など失業対策事業のための費用です。
- 農林水産業費……………1億1,730万円
農林関係で、病虫害の防除や高萩牛などの畜産振興、土地改良事業や農業委員会の費用です。
- ・肥育牛導入などの畜産の振興費として 1,139万円
- ・田園都市建設事業協会基金補助金 1,200万円
- ・農道や水路の整備に 3,197万円
- ・林道の開設など林業の近代化のために 2,294万円
- 商工費…………… 3,195万円
商業、工業の振興と市観光開発などのための費用です。消費者対策費も含まれています。
- ・小滝沢駐車場新設工事費など観光施設の整備費として 733万円
- ・市制20周年を記念してつくられる市民の歌、市民おどり主題歌製作のための費用として 243万円
- ・商工会運営助成金 309万円
- 土木費…………… 2億6,903万円
住みよい環境をつくるために、道路や橋の新設、改良と維持管理、公園緑化などの費用です。
- ・道路や橋の改良と維持のために 1億1,170万円
- ・歩道や道路反射鏡など交通安全施設整備に 873万円

- ・谷地川排水路改修のために 3,123万円
- ・市街地の環境改善のための公共下水道の調査費として 650万円
- ・市営住宅建設（2棟12戸）と維持管理費に 5,806万円
- 消防費…………… 7,491万円
市民の財産を火災や風水害から守り、また、交通事故などの救急業務のための費用です。
- ・消防団の経費として 994万円
（中戸川分団詰所新設工事費65万円が含まれています）
- ・上水道消火栓新設工事費 62万円
- 教育費…………… 4億7,995万円
学校教育、社会教育、公民館活動、スポーツの振興などのための費用です。
- ・市政20周年を記念して発刊される「郷土のあゆみ」（仮称）の経費に 272万円
- ・教育指導主事設置に係る費用として 610万円
- ・小学校教育のための経費として 1億6,847万円
（高萩小学校危険校舎改築費としての8,330万円が含まれています）
- ・中学校教育のための経費として 1億7,547万円
（高萩中学校危険校舎改築費としての1億2,827万円が含まれています）
- ・幼稚園の幼児教育のため 2,569万円
- ・中央公民館を中心とした公民館活動の

- ために 1,232万円
- ・市民体力づくりやママさんバレーボールなどのスポーツ振興のための経費として 468万円
- ・市民体育館新築工事（2年継続事業）の費用として 4,863万円
- 災害復旧費…………… 226万円
市の施設などが災害でこわれたとき、もとに戻すための費用で、ことしは大字高萩の高田水路工事があります。
- 公債費…………… 1億2,348万円
市が政府資金などを借りて、学校などの公共施設や道路建設などの仕事をしていますが、その負債を何年かにわたって返す元金です。
- 予備費…………… 5,100万円
予算の中で予想されない支出などにあてるための費用です。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行なう場合、一般会計から分離して別に収支を行なう会計で、本市には次の三つがあります。

- 国民健康保険事業…………… 3億1,212万円
国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産、死亡などに際して、必要な保険給付を目的とした会計です。
- 農業共済事業…………… 2,221万円
農作物、蚕繭、家畜などが、災害によって受ける損失を共済金として支払い、農業経営の安定を図るための事業です。
- 霊園事業…………… 57万円
高萩霊園（赤浜）の管理費です。

企業会計

企業会計とは、県、市町村などが、住民の福祉を増進するために経営する事業会計で、本市には水道・工業用水道事業会計があります。

- 水道事業…………… 1億7,393万円
昨年度から一般家庭に給水をはじめた上水道事業の会計です
- 工業用水道事業…………… 4,863万円
ことしから、松久保工業団地に進出する企業に給水をはじめ、工業用水道事業の会計です。

一般会計歳出予算（目的別）

	予算額	構成比	一帯当りの予算額
議会費	4,463万円	2.0%	5,548円
総務費	29,205	13.0	36,307
民生費	52,098	23.2	64,766
衛生費	15,381	6.9	19,121
労働費	8,204	3.7	10,199
農林水産業費	11,730	5.2	14,582
商工費	3,195	1.4	3,972
土木費	26,903	12.0	33,445
消防費	7,491	3.3	9,313
教育費	47,995	21.4	59,666
災害復旧費	226	0.1	281
公債費	12,348	5.5	15,351
予備費	5,100	2.3	6,340
歳入合計	224,340	100.0	278,891

市民が負担するお金	
ひとり	21,681円
一帯帯	81,038円
市民のために使われる市の予算	
ひとり	74,613円
一帯帯	278,891円

※49年度の一般会計予算と市税を市の人口、世帯で割ったものです。
49年4月1日現在
人口 30,067人
世帯 8,044世帯

今年度の予算 28億86万円

(一般会計 22億4340万円) (特別会計 3億3490万円)

歳入と歳出

一般会計の歳入 地方交付税が、前年度に比べて21.2%の伸びの6億5,809万円、29.3%を示め、次いで市税の6億5,187万円、15%の伸び、国庫支出金が4億8,165万円、50.1%と大幅な伸びを示しています。また、県支出金については、36.6%の伸び1億704万円となっています。

しかし、歳出面の建設事業との関連で重要な財源の市債が2億240万円、20.7%の減となり、一般会計予算は22億4,340万円、20.3%の増となりました。

一般会計の歳出 性質別にみえますと人件費が5億9,876万円、前年度に比較すると26.7%の伸び、物件費1億7,702万円、43.2%の大幅な伸び、市独自の施策母子家庭の医療の無料化などの福祉対策のための扶助費は、3億9,943万円、33.8%に増額しました。

しかし、投資経費としての普通建設事業費が、国の総需要抑制政策（特に公共事業）のために、前年度に比べ5億1,776万円、2.5%減で、一般的には緊縮財政となりました。

特別会計 霊園事業で27.5%の増、農業共済事業35.6%の増、国民健康保険事業については、精神障害者援助、助産費の増額、高額医療費の支給などのため47.6%と大幅な伸びを示しています。

企業会計 昨年からの給水をはじめた水道事業が1億7,393万円、前年度に比較して50.9%の減、工業用水道は4,863万円、5.3%の減で、それぞれ大幅な減額ですが、これは、水道施設の事業がほぼ完了した関係です。

昭和49年度の予算 総額28億86万円となり、前年度の当初予算総額24億7,936万円と比較して13.0%の伸びとなりました。

一般会計

■議 会 費……………4,463万円
市議会議員の報酬や議会事務局職員の給与、事務費などがおのものです。

■総 務 費……………2億9,205万円
市の行政や事業を行なうための管理費で、企画調整、財政財務、税務、広報、広聴、統計、戸籍、選挙などの事務費や職員の給与なども含まれます。

- ・市政モニターや市報などの発行のための費用として 444万円
- ・交通安全対策費として 521万円
- ・明るく住みよいまちづくり市民運動のために 280万円
- ・ことし開催される国体（高萩市は一般準硬式野球）の運営に 2,202万円

■民 生 費……………5億2,098万円
社会的に恵まれな立場に置かれた人々たちを守り、社会福祉の充実を推進するための経費です。

- ・心身障害の人たちの援護などのための経費として 1,600万円
- ・老人ホームなどに入っている人たちの経費やお年寄りのために 3,359万円
- ・市政の重点施策でもある医療費無料化のための経費に 8,798万円
(医療給付費…お年寄りに6,578万円、重度心身障害の子どもに332万円、赤ちゃんに623万円、母子世帯の18歳未満子女に203万円)
- ・児童手当として 4,273万円
- ・保育所の運営や子どもたちの福祉のための経費として 9,478万円
- ・生活の苦しい人たちのために 2億4,560万円

- ・国民健康保険への繰入金 720万円
- ・市社会福祉協議会補助金 208万円

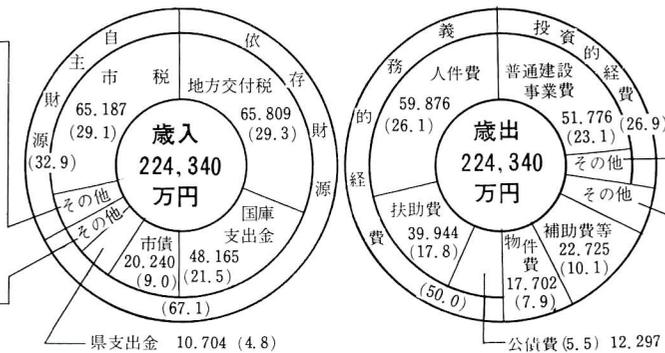
■衛 生 費……………1億5,381万円
生活環境を清潔にし、市民のみさんの健康を守るための費用です。市営火葬場の経費も含まれます。

- ・成人病や伝染病などの予防のための保健衛生の経費として 4,576万円
(高萩市及十王町衛生組合隔離病舎負担金51万円、高萩・北茨城と畜場組合負担金503万円が含まれています)
- ・君田診療所費に 1,041万円
- ・公害対策のために 258万円
- ・ゴミや尿の処理に 6,120万円
(高萩市及十王町衛生組合への負担金5,543万円が含まれています)

使用料及び手数料	3,106 (1.4)
請 取 入	2,055 (0.9)
繰 越 金	1,830 (0.8)
繰 入 金	800 (0.4)
分担金及び負担金	743 (0.3)
財産収入	139 (0.1)

地方譲与税	2,077 (0.9)
自動車取得税交付金	1,865 (0.8)
娯楽施設利用税交付金	1,036 (0.5)
交通安全対策特別交付金	391 (0.2)
産炭地域振興臨時交付金	115 (0.1)
寄付 金	78 (0.0)

一般会計歳入歳出予算(性質別) ※単位は万円 ※()内は%



失業対策事業費	8,187 (3.7)
災害復旧事業費	226 (0.1)

維持補修費	4,311 (1.9)
貸付金	1,413 (0.6)
繰出金	720 (0.3)
繰立金	48 (0.0)
投資及び出資金	14 (0.0)
予備費	5,100 (2.3)

母子家庭の児童の医療費を無料に

(国保)

市では、母子家庭の児童の健康と家庭生活の安定を図るため、4月から母子家庭の18歳未満の児童が、保険による診療を受けたときに病院などの窓口で支払った自己負担額を、医療福祉費として支給することになりました。

この医療費の支給方法は、現在実施されている乳児、重度心身障害者、ねたきり老人、70歳以上の老人などと取り扱いが違い、診療を受けたときに病院などの窓口へ自己負担額を支払い、翌月市役所へ支給申請をして市役所から支払いを受ける方法です。

この医療費は、対象者の皆さんの支給申請により支給しますので、申請もれないようにご注意ください。また、この制度に該当すると思われるかは、受給資格申請を早めに済ませてください。その際には、健康保険証、印鑑を持参してきてください。受給資格申請書は、保険年金課医療福祉係に用意してあります。

血液型調査にご協力を高萩市青年会議所

高萩青年会議所の社会開発委員会では今年度の活動として「市民血液型調査」を実施することになりました。

これは市民の皆さんに、血液の重要性を再認識していただくとともに、不測の災害にそなえて、市民ひとりひとりがお互いに協力し助け合おうと、そのつながりをつくるための基礎資料として実施するものです。

いま、輸血に必要な血液を確保するために、その家族はたいへんな苦勞をしています。そして、それはいつ自分の身に降りかかるかわかりません。健康なときに自分の血液型を知り、献血をしておき市民だれもが献血手帳を持ち、いつでも助け合える体制をつくるのがたいせつだと思います。

血液型の調査用紙は、後日みなさんの

市の人口と世帯数

	3月1日現在	前月比
人口	30,260人	(増15)
男	14,870人	(増13)
女	15,390人	(増2)
世帯	8,068世帯	(減6)



お知らせ

ご家庭にお配りしますので、血液は人間の生命に直結する問題だけに、本趣意をご理解のうえ、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

なお、当委員会では血液型のわからない方のために、血液検査を実施する予定になっていますので後日お知らせいたします。

(高萩青年会議所社会開発委員会)

助産費が2万円に

国保条例一部改正

4月1日から高萩市国民健康保険条例の一部改正があり、給付の改善が行なわれます。

①精神障害者が指定病院で精神障害の医療を受ける場合、医療費を軽減するため、精神衛生法第32条第1項(通院のみ)の適用を行ない、公費負担残額(5割)を保険者(市)が負担します。これにより、該当するかたの自己負担はなくなります。

②助産費については、いままで1万円を支給していましたが、4月1日以降の出生者に対しては2万円が支給されることになりました。

※以上の給付は4月1日から適用になります。くわしいことは保険年金課国保係(電話②111 内線226番)にお問い合わせください。

老後の生きがい

クラブに加入しよう

近年の平均寿命は、男女とも70歳以上で、平均寿命ののびとともに老人口もますます増加しています。

現在、国や県、市とも在宅老人の生きがい対策のひとつとして、老人クラブ活

動を推進、援助をしています。

市内には各地区に28のクラブが設立され、それぞれ修養に、趣味に、社会奉仕に活動していますので、60歳以上の希望者は、各地域のクラブへ加入して老後の生きがいといたしましょう。

くわしいことは、市福祉事務所社会係(電話②111 内線288番)へどうぞ。

現金や貴重品を

送る場合は書留で

現金や指定された貴金属類は、必ず書留としなければならないことに法律で定められています。書留としないで差し出された場合は、規定に違反した郵便物として差出人に返されたうえ、返付料として書留料の2倍に相当する金額を取立てられますから注意してください。

書留郵便物の引受けから配達するまでの記録をしておき、もし途中で失つたり破損した場合、差出しの差出人から郵政省に申出のあつた損害要償額(損害代償を要求できる額)の範囲内で賠償する制度です。

書留料金表

損害要償額	書留料金	
	現金以外	現金
5,000円まで	100円	100円
10,000円まで	102円	110円
30,000円まで	110円	150円
50,000円まで	118円	190円
100,000円まで	138円	290円
300,000円まで	218円	—
500,000円まで	298円	—
1,000,000円まで	498円	—

(高萩郵便局)

固定資産台帳の縦覧

5月11日まで

昭和49年度固定資産の課税標準となる価格を登録した固定資産台帳(土地、家屋、償却資産)の縦覧を、4月22日から5月11日まで市役所税務課で行ないます。

もし、課税台帳に不服があるときは、5月21日までに審査申し出をすることができます。くわしいことは税務課(電話②111 内線215番)へどうぞ。

相談日あんない

- 交通事故相談 5月8日午前10時から4時 中央公民館 交通事故専門の相談
- 行政相談 5月2日午後1時から3時まで 市民相談室 国県・市に対する苦情

今月の納税

固定資産税・都市計画税(1期)と軽自動車税(全期)の納期が5月に延期になりました。